

中庭の“洗心の泉”では、今日もメダカが元気よく泳ぎ回っています。
“めだかの学校”——昭和25年に発表されたその唱歌の歌詞には“誰が生徒か先生か♪ 誰が生徒か先生か♪”の一節があります。今の教育がめざしている“協働の学び”の本質を歌っているようで、かえって新鮮に感じてしまいます。

1学期も3分の2が過ぎました。中体連の大会も佳境を迎え、活気ある日々が続いています。



◆活動の様子 (5/19~6/20)

5月20日(火) 1年:小中連絡会
5月21日(水) 3年:第1回復習テスト
5月23日(金) 1年:耳鼻科検診/検尿二次
5月26日(月) 前期読書旬間(~6/6)
5月27日(火) 3年:内科検診
5月28日(水) 校長講話(人権学習)
前期人権学習強調月間(~6/27)
5月29日(木) 地域一斉清掃
5月30日(金) 運動部壮行会
6月3日(火) 2年:内科検診
6月4日(水) 音楽集会

6月6日(金) メディアリテラシー講演会
6月7日(土) 中信大会(陸上・男女バスケット・卓球)
6月8日(日) 中信大会(卓球)
6月11日(水) 生徒集会
6月12日(木) 1年:SOSの出し方教育講座
6月13日(金) 信明倶楽部発足
6月14日(土) 中信大会(男女ソフトテニス・野球)
6月15日(日) 中信大会(男女ソフトテニス・野球)
6月18日(水) 学校公開日・学年学級PTA
6月19日(木) 1・3年:歯科検診



5月20日(火)、1年生の**小中連絡会**がありました。入学して2か月、中学生として元気に活動している姿を小学校6年時の担任の先生方に参観していただきました。参観後の連絡会では、小学校の先生方から「いきいきと授業に取り組む姿が素晴らしく、卒業してから2か月しか経っていないのに格段に成長していて驚いた」「積極的にかわっていて、学び合う様子が良かった」といった声が寄せられました。1年生にとっての“協働の学び”は始まったばかりですが、これからのさらなる成長に期待が膨らみます。3年生でも理科の授業公開があり、イオンや中和のしくみについてホワイトボードやマグネットを使ってグループで追究する姿が見られました。“協働の学び”は信明中学校の重点のひとつです。現在、各教科でも積極的に取り組んでいます。また、5月21日(水)には、3年生が**第1回復習テスト**に挑みました。テストも進路実現に向けての大切な過程のひとつです。日々の学習に加えて、計画的な復習を心がけていきましょう。**第2回復習テスト**及び**1学期期末テスト**は来週25日(水)です。

5月29日(木)、町別生徒会主催の**地域一斉清掃**が行われました。5校時終了後、各地区に分かれて活動し、1時間ほど気持ちの良い汗を流しました。地域の方が加わってくださった地区もあり、交流を深めることができました。地域に支えられている学校として、ささやかではありますが、恩返しをすることができたのではないのでしょうか。



5月30日(金)、**運動部壮行会**が開かれました。吹奏楽部の奏でる“OLA”の演奏にのり、ユニフォーム姿で堂々と入場した選手の皆さんと、それを全力で応援しようとする全校の皆さんとが対面し、体育館は熱気に包まれました。部長一人一人からは「悔いが残らないよう、練習の成果をすべて出し切ります」「感謝の気持ちを忘れずにプレーします」など、力強い発表がありました。また、文化部部长からは「3年生にとっては最後になるかもしれない大会です。最後の瞬間まで、全力でぶつかってきてください」、教頭先生からは「信明、の名のもとに、自分を信、じ、仲間を信、じ、明、るい未来に向かって、戦い抜いてきてください。健闘を祈っています」と、激励の言葉がありました。最後に、体育応援委員長のコールにあわせ、体育館中に響き渡る“フレイフレー信明、や“今ぞ燃ゆ、で、選手に熱いエールを送りました。6月7日(土)の**中信大会**を皮切りに、今、運動部の皆さんの熱戦が続いています。各部の健闘は、次号でお伝えします。



5月、2年生が**職場体験学習**に向けての取り組みを始めました。人は何のために働くのか、将来どんな働き方をしたいのか、そのためにはどのような進路があるのか、そういった問いに対し、実際に“働く、体験を通して考えていくことがこの学習ねらいです。体験学習は、7月16日(水)・17日(木)です。

6月、信明中学校は**前期人権学習強調月間**を迎えています。人権学習の始まりにあたり、校長先生に右のようなお話をいただきました。

人権学習強調月間を通し、相手の心に“棘”として突き刺さる言葉や行為に気づける自分を培っていきましょう。



★文科省の調査ではいじめの内容を9つに分類していますが、その中で多かったのは、①「冷やかしかからかい」で、全体の半分を占めています。次いで、②「ぶつかる、たたかれる、けられる」。③「仲間はずれ」。④「ネットやSNSを使ったひぼう中傷」となっています。特にSNSは、便利さの裏で危険性があったり、使い方によっては人権侵害にもなり得ることを十分わかって使用することが必要です。このような場面で自分でブレーキをきかせるためにはどうしたらよいのでしょうか。★このグラフを見てください。いじめの件数は、年齢があがるにつれ「確実に減っていく」ことがわかります。つまり、いじめを減らすには、みんなが成長することが必要です。ただ、年齢を重ねればいわけではなく、仲間と一緒に充実した日々を積み重ねていくこと。大切なのは、心の成長です。周りの人に対して優しさと思いやりの気持ちをもち、正しい判断力を身につけることができれば、きつといじめはなくなっていくと思います。★いじめをなくすために、できることは何でしょうか。まずは、①友だちを大切に、相手を思いやる気持ちをもつこと。②もしも自分がいじめを受けていると感じたら、勇気を出してSOSを発信すること。③もしもいじめを見かけたら、自分にできることは何だろう?と考えることです。★「バラの棘の痛みは、指に刺さった者にしかわからない」という言葉を知っているでしょうか。バラの棘は本当に小さな棘ですが、その痛みはとても鋭いものです。そんな棘ぐらいと思ってしまいますが、小さな棘はバラだけではなく、何気ない言葉や行動の中にも潜んでいます。ふざけたり、冗談のつもりでも誰かが傷ついているときにそれぐらいのことでおおげさだと思ったことは無いでしょうか。取るに足らないものにも思えても大きなダメージを受けていることもあるはず。指に刺さる棘とは違い、心に刺さる棘は人それぞれ違います。自分は何も感じなくても他の誰かに深く刺さる可能性もあることを知ってもらいたいと思います。★世の中にはたくさんの差別が残念ながら存在します。そんな学習ができる人権学習強調月間にしましょう。人権とは、一人一人が自分らしく生きること。一人一人がちがう自分らしく生きる権利を大切にできる信明中であるようにしましょう。(抜粋)

【体罰に関する県の相談窓口】

○学校生活の悩み、いつでも相談してください
「学校生活相談センター」
0120-0-78310 *24時間子どもSOSダイヤル
gakko-sodan@pref.nagano.lg.jp
○友だちのこと、家族のこと、悩んだときは相談してください
「長野県子ども支援センター」
0800-800-8035 *子ども専用ダイヤル
kodomo-shien@pref.nagano.lg.jp

○小・中学校に関することは
「義務教育課」 026-235-7426
○特別支援学校に関することは
「特別支援教育課」 026-235-7456
○高等学校に関することは
「高校教育課」 026-235-7430
○部活動・学校体育に関することは
「保健厚生課」 026-235-7448

